

## 実践記録

学校 / 学年	小学校 / 3年	
教科等：単元名	学級活動：「不審電話への対応」	
キーワード	名前 電話番号	
情報モラル指導 モデルカリキュ ラム表における 目標	分類	情報社会の倫理 法の理解と遵守 安全への知恵 情報セキュリティ 公共的なネットワーク社会の構築
	大目標項目数字 大目標項目内容	e2：情報を正しく安全に利用することに努める
	中目標項目番号 中目標項目内容	e2-2：個人の情報は、他人にもらさない。
授業会場	パソコン教室 普通教室 特別教室〔 〕 その他〔 〕	
学習の目標	不審電話がどんなものかを知り、不審電話がかかってきたときには、他の人の名前・電話番号などを知らない人に教えないという判断ができる。	
使用教材	教材名	事例で学ぶ Net モラル
	製作者	広島県教科用図書販売株式会社
	入手先（URL等）	長野市情報モラルポータルサイト「事例で学ぶNetモラル」

### 展開

	学習活動	指導 評価
導入	1 映像クリップを見る。 2 主人公はどうして他の人の名前・電話を教えたのか考える。	・画面に集中させる。 ・主人公の気持ちになって考えさせ、映像クリップを見させる。
展開	3 自分にも同じような不審電話がかかってきたらどうするか、ワークシートに記入し、理由を発表する。 4 不審電話について知り、対処の仕方を考える。	・自分に不審な電話がかかってきたら、他の人の名前・電話を教えるかを考えさせる。 ・不審電話の特徴と問題点について映像クリップで示す。
おわり	5 まとめの映像を見て、振り返りをする。 6 不審電話への対処の仕方を発表しあう。	自分に不審電話がきたとき、他の人の情報を教えないようにしようとしたか。

### 授業の成果

- ・小学校3年生では、不審電話が家にかかってきたという経験を持つ子がいる。どこの学校、家庭でも実際に起こりうることなので、普段無関心な子も映像クリップに興味深く見入り、授業に取り組んだ。
- ・自分が個人情報を教えてしまった結果、周りの人に迷惑をかけてしまったことの重大さに気づくことができた。

### 指導のポイント・留意点

- ・不審電話がかかってきた時に、主人公の立場に立てるかどうかがポイントになる。
- ・不審電話に関する不安を解消するために、疑似体験や教師の話がポイントになる。